

子供たちに伝えたい 日本の良さ

令和2年2月発行（第49号）

東京都教育庁指導部指導企画課
教育経営・教育課程担当

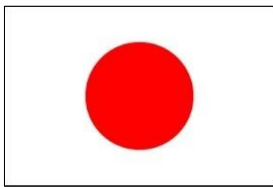
昨年の9月から11月までにかけて開催されたラグビーワールドカップでは、マスコットキッズが入場したチームと一緒に国歌を歌ったり、観客が相手国の国歌を斉唱したりする様子が報道され話題となりました。

いよいよ半年後、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。大会の開会式で選手が国や地域の旗等を先頭に行進する姿や、表彰式で、優勝した選手の国や地域の旗等を掲げ、国歌等が流れる感動的なシーンを数多く目にするようになるでしょう。

各学校では、オリンピック・パラリンピック教育を通して、自国の伝統や文化に誇りをもつとともに、他国の伝統や文化を尊重し、国際社会において活躍できる児童・生徒の育成を目指した取組が展開されています。

本号では、改めて間近に迫った2020東京大会に向け、各学校の取組が一層充実するよう、我が国や世界各国の国旗や国歌等に関する取組事例を紹介します。

我が国の国旗・国歌を 尊重する心の育成



日本の国旗
(日章旗)



日本の国歌
(君が代)

(内閣府ホームページ「国旗・国歌」について より)

学習指導要領における国旗・国歌

例えば、「小学校学習指導要領」には、「第2節 社会」、「第6節 音楽」において、以下のように示されています。

社会 [第6学年]

(3) 内容の(3)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アについては、**我が国の国旗と国歌の意義を理解し、これを尊重する態度を養うとともに、諸外国の国旗と国歌も同様に尊重する態度を養う**よう配慮すること。

音楽 第3 指導計画の作成と内容の取扱い

1(5) **国歌「君が代」は、いずれの学年においても歌えるよう指導すること。**

(「小学校学習指導要領(平成29年告示)」61ページ・122ページ 平成29年3月)

また、「小学校学習指導要領解説 社会編」では、国旗・国歌の取扱いについて、以下のように示されています。

第3章 各学年の目標及び内容 第4節 第6学年の目標及び内容

国旗と国歌の意義については、第3学年及び第4学年、第5学年における国旗に関わる指導の上で、次のような事柄について理解できるようにする必要がある。

- ① **国旗と国歌はいずれの国も持っていること。**
- ② 国旗と国歌はいずれの国でもその国の象徴として大切にされており、**互いに尊重し合うことが必要**であること。
- ③ 我が国の国旗と国歌は、それぞれの歴史を背景に、長年の慣行により、「**日章旗**」が国旗であり、「**君が代**」が国歌であることが広く国民の認識として定着していることを踏まえて、**法律によって定められていること。**
- ④ 我が国の国歌「君が代」は、**日本国憲法の下においては、日本国民の総意に基づき天皇を日本国及び日本国民統合の象徴とする我が国の未永い繁栄と平和を祈念した歌**であること。

また、国歌「君が代」については、音楽科における指導との関連を重視するとともに、**入学式や卒業式などにおける国旗や国歌の指導などとも関連付けながら指導することが大切**である。

(「小学校学習指導要領解説 社会編」132ページ 平成29年7月)

「小学校学習指導要領解説 社会編」の他、「音楽編」、「特別活動編」にも国旗・国歌の取扱いに関する記載があります。また、中学校・高等学校・特別支援学校の「学習指導要領」においても、同様に国旗・国歌の取扱いが示されています。

東京都教育委員会の取組例

事例① オリンピック・パラリンピック学習読本

東京都教育委員会が作成している「オリンピック・パラリンピック学習読本 小学校編」には、「2 世界のマナー」として、国旗と国歌について、右のような記事が掲載されています。

また、同学習読本の中学校編や高等学校編では、外国政府要人の来日や国際会議の開催等の海外からのお客様を迎える際のプロトコール（国際的基本儀礼）に基づいた国旗の掲揚方法を取り上げるとともに、外国の人々と交流する際のマナーにも触れています。

（出典：「オリンピック・パラリンピック学習読本 小学校編」65ページ）

事例② 第2回 都立高校生等によるボランティア・サミット

令和元年11月9日に開催した「第2回 都立高校生等によるボランティア・サミット」では、都立高等学校、都立中等教育学校後期課程及び都立特別支援学校の生徒が、東京2020大会に向けたボランティア活動の一環として、同大会に参加予定の国や地域の旗等に使われている色の折り紙による「千羽鶴」を製作し、これらが会場ロビーに展示されました。

また、この千羽鶴は、12月14日から同月16日まで、東京都庁第一本庁舎アートワークでも展示されました。



ボランティア・サミットでの「千羽鶴」展示



東京都庁アートワークでの「千羽鶴」展示

学習のとびら

それぞれの国の国旗と国歌には、どのような意味や思いがこめられているでしょうか。調べてみましょう。

たとえば、日本は

国旗

日本の国旗は、日章旗（日の丸）と呼ばれ、のぼる太陽を表しているといわれています。江戸時代の末、外国の船との区別をはっきりさせるため、幕府が日本船の印として決めたものです。明治政府も、日本の商船旗として定め、やがて国旗としてあつかわれるようになりました。



太平洋を横断する威風丸（1860年）

学校では、入学式や卒業式などのときに、国旗をけいようし、国歌を斉唱します。

国歌

日本の国歌は君が代であり、平安時代につくられた和歌をもとにして、明治時代に今日のような曲がつくられました。

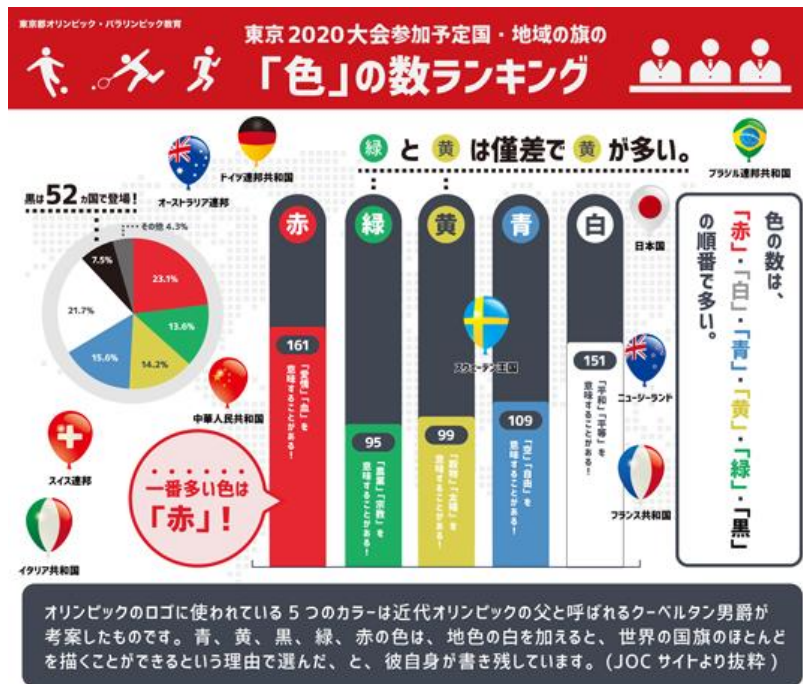
君が代には、日本の国がいつまでもはん栄し続け、平和であることを願う気持ちがこめられています。

表彰式の国旗けいようでは、国歌が流されます。



国歌とともに国旗がけいようされる。

事例③ 東京都オリンピック・パラリンピック教育「児童・生徒向けコンテンツ」



東京都オリンピック・パラリンピック教育のホームページでは、東京2020大会参加を予定している国・地域の旗の「色」の数ランキングを発表するなどして、我が国と同様に、他国の国旗にも関心をもてるようにしています。

「世界ともだちプロジェクト」と関連付けて、活用することができます。

都内の区市町村教育委員会・学校の取組例

東京都内の区市町村教育委員会や各学校が実施している国旗・国歌に関する取組事例について紹介します。

事例① 区市町村教育委員会の取組例

オリンピック・パラリンピック教育における「世界ともだちプロジェクト」の一環として、3年間で地区内の全ての小・中学校等で、講師による「国旗の話」と、プロの歌手による「国歌」の独唱及び子供たちへの歌唱指導を行いました。

この取組により、児童・生徒は対象国の国旗や国歌について理解を深めるとともに、対象国を応援しようとする気持ちや、東京2020大会への興味・関心を一層高めました。

小学校4～6年生、中学校全学年等の内、各校の希望により実施学年を決定しました。



各国の国旗一覧を用いた活動

事例② 学校の取組例

オリンピック・パラリンピック教育における「重点的に育成すべき5つの資質」のうち、「日本人としての自覚と誇り」に位置付け、国旗・国歌について取り上げて指導しました。

国旗の形や、国旗ができた由来、国歌の歌詞の意味を指導しました。総合的な学習の時間の中で、オリンピック・パラリンピック学習読本を活用し、日本の良さを自分の言葉でまとめ、「私の日本」というパンフレットを作成しました。

子供たちは、国旗・国歌に興味をもち、日本のことや歴史を深く知ることができました。また、これまで意識していなかった日本の魅力にも気付くことができました。

関連書籍・イベント等紹介

本資料第 47 号「寺子屋での学び」で、江戸時代の和算について取り上げました。江戸東京博物館で開催される、江戸時代から伝わる和算のパズルを体験できる催しについて紹介します。また、東京都立図書館ホームページでは、オリンピック・パラリンピックに関連する資料の展示や注目の本・雑誌などについて紹介されています。

江戸東京博物館からイベントのお知らせ 【ふれあい体験教室】和算パズル

開催日時：令和 2 年 3 月 14 日（土）
13：00～15：30（受付終了 15：00）
場 所：江戸東京博物館 常設展示室
5 階ミュージアム・ラボ
（〒130-0015 東京都墨田区横網 1-4-1）
対 象：小学校 4 年生以上
参 加 料：無料
講 師：ふれあいボランティア



都立図書館から展示等のお知らせ 【オリンピック・パラリンピックコーナー】

都立中央図書館 1 階の中央ホールでは、「オリンピック・パラリンピック」、「伝統・文化」、「Books on Japan」の三つの展示を行っています。

「オリンピック・パラリンピック」コーナーではオリンピック・パラリンピックの歴史や、過去の大会の記録、競技種目などについて、約 300 冊の資料が閲覧できます。

東京都立中央図書館（所在地） 東京都港区南麻布 5-7-13



【東京 2020 オリンピック・パラリンピックを読む】

東京 2020 大会に向けて、注目の本や雑誌が都立図書館公式 SNS 上で紹介されています。また、アーカイブを公式ホームページ上でまとめて読むこともできます。

【テーマにおける引用・参考文献資料、写真提供】

- ① 「日本の国旗・国歌」内閣府ホームページ（「国旗・国歌」について）
<https://www8.cao.go.jp/chosei/kokkikokka/kokkikokka.html>
- ② 「学習指導要領における国旗・国歌」：
小学校学習指導要領（平成 29 年 3 月）文部科学省、小学校学習指導要領（平成 29 年 7 月）解説 社会編 文部科学省、中学校学習指導要領（平成 29 年 3 月）文部科学省、高等学校学習指導要領（平成 30 年 3 月）文部科学省、特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領（平成 29 年 4 月）文部科学省、特別支援学校 高等部学習指導要領（平成 31 年 2 月）文部科学省
- ③ 「オリンピック・パラリンピック学習読本」：
「オリンピック・パラリンピック学習読本 小学校編」、「同 中学校編」、「同 高等学校編」（平成 31 年 3 月）東京都教育庁指導部指導企画課
- ④ 「第 2 回 ボランティアサミット」：東京都教育委員会ホームページ
<http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2019/10/10/17.html>
- ⑤ 「東京都オリンピック・パラリンピック教育」（児童・生徒向けコンテンツ）
<https://www.o.p.edu.metro.tokyo.jp/children-student>
- ⑥ 「関連書籍・イベント情報」：
・江戸東京博物館 <https://www.edo-tokyo-museum.or.jp/event/class/>
・都立中央図書館
https://www.library.metro.tokyo.jp/search/research_guide/olympic_paralympic/corner/index.html
https://www.library.metro.tokyo.jp/readings/olympic_paralympic/index.html

※ 本資料に対する御意見・御感想、本資料の活用実践等がありましたら、右記担当へ御連絡ください。
今後の資料作成の参考とさせていただきます。

【担当】東京都教育庁指導部指導企画課
電 話 03-5320-6869
ファクシミリ 03-5388-1733